

比較 <ページ5>

☆つまり、形容詞・副詞を比較級の形で用いるのは、「何か2つのものを比べる時」なのです！

例文では、ユキは私より...とか、犬と猫のどちらが...とか、「2つのもの(人)」を比べているよね。

こういう時、形容詞・副詞は比較級になるよ！ これポイントね(≧▽≦)!



※例外は、Takuya plays the guitar better than any other boy. (タクヤは他のどの少年より上手にギターを弾く。) こういう文の時。

これは、タクヤ君と誰か(1人だけ)を比べているわけではなく、他の何人かと比べているよね。

でも、**than** を使う表現だから、形容詞・副詞は比較級になるのだ！

「比較級+than any other ○○」、これは熟語としてこのまま丸ごと覚えちゃったほうがいいかも(. .)φ

③ 最上級

● 「(○○の中で)いちばん...だ」という表現の時。

Yuki is the prettiest in the class. ユキはクラスでいちばんかわいい。

Nana is the youngest in her family. ナナは彼女の家族の中でいちばん若い。

This book is the newest. この本はいちばん新しい。

This picture is the most beautiful of all. この絵(写真)は全て(の絵・写真)の中でいちばん美しい。

Takuya plays the guitar the best of the three. タクヤは3人の中でいちばん上手にギターを弾く。

I like music the best. 私は音楽がいちばん好きだ。

◇◇ ここからは原級・比較級・最上級の文についての耳より情報2連発！ ◇◇

This picture is as beautiful as that **one**. この絵(写真)はあの絵(写真)と同じくらい美しい。

This picture is more beautiful than that **one**. この絵(写真)はあの絵(写真)より美しい。

この one、気になった人はいませんか？ ↑

This picture is as beautiful as that **picture**. が正しいんじゃないの？ one っていったい何？と。

(^▽^)<これはね…

英語の文は、This **picture** is ...that **picture**. のように、1つの文の中に同じ単語が繰り返し出てくるのは、あまり良くないとされているのです。

で、そういう時、2回目の単語(名詞)の代わりに使われるのが、この one という語。

「1」「1つ」という意味ではなく、「前に出てきた単語(名詞)の代わり」なのです。

だから、和訳する時には、「絵(写真)」とか、「本」「男の人」「車」など、もともとの単語(名詞)の意味で訳すと、自然な和訳になるよ(^o^) 英作文をする時にも、この one のことを思い出してみてね♪

Nana is the youngest **in** her family. ナナは彼女の家族**の中で**いちばん若い。

Takuya plays the guitar the best **of** the three. タクヤは3人**の中で**いちばん上手にギターを弾く。

(・▽・)<同じ「～の中で」という意味で、in と of の2種類の語が使われているね。

◆ in the (または my, his, her など) class / in the (同じく) family / in the world など、主に「場所、グループ、範囲」を表す場合は、**in** を用いる。

◆ of the three 「3人(個、冊、などなど)の中で」のように「数」が出てくる場合や、of all / of all people のように **all** という語が出てくる場合は、**of** を用いる。

… このように使い分けてね。慣れるためには練習、練習！ 頑張ろうφ(^o^)